

茅野市 I C T活用戦略（案）に関する
パブリックコメントにお寄せいただいたご意見と市の考え方

茅野市が制定を進めている「茅野市 I C T活用戦略（案）」に関するパブリックコメントを実施したところ、下記のとおり貴重なご意見をいただきました。

いただいたご意見の概要とそれに対する市の考え方をまとめましたので、公表いたします。

記

○パブリックコメントの実施状況

1 意見の募集期間	2 意見の提出者数と件数		3 意見の提出方法別人数				
	提出者	件数	メール	郵送	F A X	持参	計
平成30年2月5日（月） ～ 3月2日（金）	1人	15件	1人	0人	0人	0人	1人

※同一意見提出者から複数項目にわたるご意見をいただいている場合があるため、意見提出者数と意見件数は一致しない場合があります。

4 いただいたご意見とそれに対する市の考え方

No.	該当する箇所等	いただいた意見の概要	市の考え
1	11 ページ 基本理念	『ICTが支える、ひとにやさしい暮らし』では理念が伝わらない。書かれているように、「地域の活性化」がイメージできる言葉のほうが良い。	基本理念については、「第5次茅野市総合計画基本構想（案）」に掲げる目指すまちの将来像「八ヶ岳の自然、人、技、歴史が織りなすやさしさと活力あるまち」の実現に向け、検討会議で協議し、「支える」「やさしい＝住みやすい」をキーワードとした生活全般に関するフレーズとしたものです。現行でご理解ください。
2	12 ページ 基本目標	(2)に書かれている「公立諏訪東京理科大学等との連携」は実現手段であり、目標ではないので、ここに記載することは不適當。	「公立諏訪東京理科大学等との連携」については、手段でもあり、大きな目標でもあります。そのため、このような記載とさせていただきます。
3	12 ページ 基本目標	(3)の2つはいずれも重要な目標であるので、別々の項目にしてもよい。	利便性向上に伴うセキュリティ確保と、業務効率化については、いずれも行政サービスにおける市の内部的な取組であるため、一つの項目としました。
4	12 ページ 基本目標	(4)に書かれていることは手段であり、目標ではない。「戦略的な情報発信とオープンデータの提供」を通じて何を実現したいのかを目標として記載すべき。	「戦略的な情報発信とオープンデータの提供」については、国の動向を勘案して、手段でもあり、目標としています。何を実現したいのかについては、計画（案）内で説明させていただきます。

No.	該当する箇所等	いただいた意見の概要	市の考え
5	13 ページ以降 「具体的な取組」全般	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に漠然とした言葉だけであり、事業がイメージできない。 ・事業毎に予算として幾ら位をかけたのかを記載すべきではないか。(可能ならば年度毎に) ・事業の数が多すぎる。茅野市の「身の丈」(限られた予算、人員)にあわせ事業を絞ったほうが良い。あるいはプライオリティーをつけてもよい(A ランク、B ランク等)。 ・状況が「実施中」の事業が多くあるが、見直しや強化・改善がないのであれば、記載する必要はない。 	<p>状況を「検討」とした事業については、実施についての検討をしながら、事業内容の具体化を行います。他計画の事業を含め、市全体の実施事業についての優先順位付けを行い、予算化をした後に事業を実施します。</p> <p>状況を「実施中」とした事業については、進行管理を行う中で、事業の妥当性、有効性等を検討し、拡充・縮小等の方向性を決定する必要があるため、この計画に記載しています。</p>
6	14 ページ「基本目標 1 市民生活・教育環境の充実・向上」	「関連分野別計画：第 1 次茅野市 ICT 教育推進計画（再掲）」とは何を指しているのかわからない。	「第 1 次茅野市 ICT 教育推進計画」は、情報化分野の「茅野市 ICT 活用戦略」及び教育・子育て分野の「第 3 次子ども・家庭応援計画」の一部として、ICT 教育部分の計画として別途策定するものです。ご指摘に基づき、記載をわかりやすく修正します。
7	14 ページ「基本目標 1 市民生活・教育環境の充実・向上」	事業「プログラミング教育の推進」、「特別支援教育における ICT 活用」は必要性が疑問。具体的な内容の記載があれば理解できるかもしれない。	ご指摘の事業については、「第 1 次茅野市 ICT 教育推進計画」の基本方針にあたるものです。説明については、「第 1 次茅野市 ICT 教育推進計画」に記載しています。あわせて、本計画では上記の点について記載を修正します。

No.	該当する箇所等	いただいた意見の概要	市の考え
8	15 ページ「基本目標1 市民生活・教育環境の充実・向上」	事業「こどものための情報リテラシー・モラルアップ活動の推進」はここに記載するレベルの内容ではない。	こどものための情報リテラシー・情報モラルについては、「第1次茅野市ICT教育推進計画」で、情報教育の観点として、充実を図るとしているものです。本計画では、再掲の形で記載します。
9	16 ページ「基本目標1 市民生活・教育環境の充実・向上」	事業「野生鳥獣の生息状況把握」は必要性が疑問。	状況を「検討」とした事業については、実施の必要性を含めて検討します。
10	17 ページ「基本目標2 「公立諏訪東京理科大学等との連携による、産業育成と雇用創出」	事業「LPWA技術を活用した実証実験と事業化検討」は必要性が疑問。	LPWA通信技術は、低消費電力で遠距離通信を実現する通信方式で、IoT分野で今後の成長が期待されている技術です。この技術を活用して地域の課題（登山者の見守りや防災対策など）を解決するために、市が実証実験の場を提供し、公立諏訪東京理科大学が民間企業と連携して研究開発を行い、市内企業が製品化を受注するなど産学公の連携による実用化を目指すことで、IoTによるまちづくりにつなげる事業です。
11	19 ページ「基本目標3 行政サービスの利便性向上・情報セキュリティ確保と業務効率化」	事業「事務システム構築の最適化と情報セキュリティ確保」の状況が「実施中」とあるが、見直しや強化・改善する内容が多分あると思うので、それを事業内容に記載して、状況の記載は「実施中（一部強化）」等に変えるべきではないか。また、この事業は非常に重要なものだと思うので、いくつかの事業に分けて記載したほうがよい。	ご指摘いただいた内容を踏まえて、当事業の内容及び状況についての記載を一部変更します。 また、システム構築と情報セキュリティについては関連する部分が多いため、一つの事業としています。

No.	該当する箇所等	いただいた意見の概要	市の考え
12	20 ページ「基本目標 3 行政サービスの利便性向上・情報セキュリティ確保と業務効率化」	事業「ICTを活用した農地パトロール及び転作確認」、「GPSを利用した塩カル散布車の効率的な運用と管理」は必要性が疑問。	状況を「実施予定」とした事業については、実施をしていく中で、事業の妥当性、有効性等を検証します。
13	22～24 ページ「基本目標 4 戦略的な情報発信とオープンデータの提供」	何が「戦略的な情報発信」なのか。各事業の事業内容にそれがイメージできる記載が無い。	新たに、「公式ホームページのリニューアル」、「インターネット動画番組配信」、「SNSによる情報発信」の各事業を関連付けてつなげ、実施していく中で、戦略的な情報発信を進めて参ります。
14	25 ページ「基本目標に対応する目標指標」	目標指標について、「項目に対応する数値については、事業の実施と今後の進行管理を行う中で、設定していく」という記載しかないが、それではこの「茅野市 ICT 活用戦略」で何を実現したいのかがわからない。「指標項目」で「・・・達成率」、「・・・数」と書くのであれば、やはり具体的な目標数値は記載すべきである。	ご指摘のとおりですが、計画（案）13 ページに記載のとおり、本計画の取組内容が今後実施予定及び実施を検討する事業を多く含んでいることを勘案し、計画（案）では、目標指標の項目を示し、項目に対応する数値については、今後の進行管理を行う中で設定していくこととしますので、ご理解ください。あわせて、状況に応じて目標指標の項目についても検討してまいります。
15	26 ページ「第 5 章 計画のマネジメント」	まずは各事業の具体的な内容を企画し、承認するというプロセスを明記するべきではないか。現在の記載では具体的な計画がないままに個々の事業が展開されるように見える。	計画（PLAN）段階においては、庁内意見を踏まえて、検討会議を設置して、事業内容（案）について議論して、計画に反映しています。